

# 青 垣

第9号 発行日 平成20年7月1日

雲南市立吉田中学校だより

## 雲南市飯南町陸上競技大会 生徒の走りに“感動” ～県大会に6種目9名が出場～

第4回雲南市飯南町中学校陸上競技大会が6月18日(水)に、大東ふれあい運動場・陸上競技場で開催されました。大会には、吉田中から18名(男子13名女子5名)の選手が参加をし熱戦を繰り広げました。この結果、7月23日～25日に浜山陸上競技場(出雲市)で開催される、島根県中学校総合体育大会・陸上の部に6種目9名の男子が雲南市飯南町の代表として出場することが決まりました。

女子も低女400mRで県大会への出場の権利を得ましたが、バレー部の県大会や吹奏楽部の県吹奏楽コンクールに向けての練習のため出場を辞退しました。



### 激走 低男4×100mR 1位

#### 吉田中学校の大会成績の概要

の種目が県大会に出場します

種目	成績	選手名
低男 4×100mR	1位	内田 瀬田 森山 願永
全男 砲丸投	2位	堀江勇太
3男 1500m	3位	和泉 翼
低女 4×100mR	3位	願永 古居 樋口 品川
1男 100m	4位	森山直樹
2男 1500m	4位	陶山善史
2男 100m	5位	願永祥太
全男 4×100mR	7位	河角 川角 森山 和泉
2男 100m	8位	瀬田 衛
1女 800m	8位	願永知奈実

## 全校生徒が選手を激励 気合いが入る壮行式 ～渾身の一投・ねばりの走り～

開会式では、参加250名の選手を代表して本校の森山康平君が力強い選手宣誓を行いました。「大会への強い決意を感じさせる堂々とした選手宣誓」に会場からは大きな拍手が贈られました。

当日は空模様を心配する曇天でしたが、最高気温は33度、湿度は70%と大変に蒸し暑い中での大会となりなりました。そのような中、選手たちは「精一杯の走り」や「渾身の一投」「気合いの跳躍」で最後まであきらめない一生懸命な姿を披露してくれました。そして応援席からは、「追い上げろー」「来たよー」「がんばれー」の声援が聞こえていました。

この陸上大会に向けての練習は、野球・バレーの総体が終わってからの短期間でしたが、選手たちは持てる力を存分に発揮し、見ている人に多くの感動を与えました。私は、選手のスタート地点から「伝わる緊張感」、長距離走での「あきらめない姿」を忘れることができません。陸上大会や市町総体で生徒たちを見詰め「子供たちは色々な体験を通して成長していくのだなー」と改めて感じ取りました。



### 立派な壮行式 ～他校に負けない～

陸上大会の前日に生徒会主催による壮行式が整然と行われました。市町総体の壮行式でも感じましたが、応援団を中心に大きな声での「激励の口上」や「手拍子」そして、全校生徒と教職員が一丸となつてのエールを送る姿は、県内でも屈指だと思います。そして、心から選手たちの健闘を願う生徒の姿にも感心をしました。私は『他人を応援できない人は、自分を応援することはできない』こんな言葉を聞いたことがあります。吉中の生徒は大丈夫ですね。



## 目標・挑戦そして再挑戦

テストの「まちがい」を大切に  
～ マチガイを見直すこと～

『期末テストも終わり あとは夏休みを待つだけ』  
なんて考えている人はいませんか？

期末テストが終わりました。『ご苦労様でした』自分の目標をもちテスト勉強に取り組むことができましたか。そして、「目標」としていたところまで到達できましたか。返されたテストの点数だけを見るのではなく、「テストに向けての取り組みはどうだったのか」も振り返って欲しいと思います。

返されたテストの点数は「学習したことが、どの程度理解できているか」を点数で示したものです。そして、テストには「分からない箇所を知らせる」という目的もあるのです。テストの結果から理解できていない部分を再度学習し、理解することが「学力の定着」や「学力の伸長」に繋がります。

### 1 テスト勉強が不十分だった人に

- ・返された期末テスト問題を、もう一度やり直してみましょ。わからなければ先生に遠慮なく聞くなりして早めに解決をしましょ。
- ・次からガンバロウではなく、反省したら直ちに行動を起こすことが大切です。「今すぐ実践！」
- ・100点は1点の積み重ねです。いきなりの満点は誰でも無理です。今回10点の人は、次回は12点が取れるよう一つ一つの積み上げが一番大切です。他人と競争をするのではなく、自分の目標を持ち勉強に挑戦してみてください。

### 「学習の手引き」

～読んで有効活用～

全校生徒に配布した学習の手引きには吉中オリジナルの「勉強方法」などが書いてあります。



### 2 目標に向かい懸命に頑張った人に

- ・結果より「過程」が大切です。がんばった自分をほめてあげてください。私は努力をしない50点よりも努力をした40点に価値を感じます。
- ・勉強は自分のためにするもので、他人と競争するものではありません。この姿勢を大切にしてください。
- ・なぜ目標が達成できなかったのか、勉強方法を見直すのも大切なことです。そして、中間テストや期末テストの問題を活用し、まちがった箇所を克服するようにしましょ。

### 3 目標を達成できた人に

- ・「よくがんばりました」努力の成果が実りましたね。答えにマチガイのあった箇所はしっかりと復習をしておくことが大切です。
- ・この時期こそ学力を定着させ伸ばすチャンスです。新たな自分の目標を設定し前進してください。

継続は力なり～あきらめない～

## 高校が中学校に期待すること 高校との連絡会に参加して ～勉強も部活も一生懸命～

三刀屋高校(6/13)と三刀屋高校掛合分校(6/25)との連絡会が高校を会場に開催され、校長と旧3年部の教員が出席しました。全体会の学校説明では、学校教育の特色が話された後、入学生の学力や生徒指導上の問題、卒業生の進路状況等の説明がありました。

この中で、三刀屋高校、掛合分校ともに、「責任ある社会人として自立するための、職業観や勤労観を形成するキャリア教育」が充実をしていることや、中学校では、高校教育にスムーズに対応できる「基礎学力の定着」を図ることの重要性を改めて感じ取りました。

三刀屋高校では全体会の後、高校の1年部と各中学校旧担任との担任部会、高校の校長と各中学校長との校長部会が開催されました。また、掛合分校では、1年生の授業公開や出身中学校の教員と生徒との懇談、1年担任との情報交換、校長どうしの話し合いが行われました。その中でも、話題の中心は学力問題でした。

最後に参加者を代表し、高校の教職員の皆さんが、学力面や心の面で心配な生徒が多い中、学習指導においても、生徒指導、進路指導面においても、一人一人に対応した、きめ細やかな指導がなされていることに感謝の気持ちを伝えるとともに、生徒のため中高連携がより深まるようお願いし私の挨拶としました。

### 卒業生からの便りを紹介

～高校1年生の卒業生から便りが届きました～

中学校3年間がとても早く過ぎ去りました。そして4月に高校に入学しましたが、もう3ヶ月が過ぎようとしています。中学校の3年間は「あっ」という間でしたが、高校の3年間はもっと早く、より『あっ』という間に終わりそうな気が今からしています。

4月に高校に入学したときには、とても不安なことが二つありました。一つ目は、友達ができるだろうかという不安。二つ目は勉強についていけるだろうかという不安でした。一つ目の不安についてですが、最初の二週間は自分からクラスの人に声をかけることができず、友達ができませんでした。しかし相手の方から声をかけてもらい、すごく楽な気持ちになりました。そして、少しずつみんなと話しをするようにもなり不安はなくなりました。

問題は二つ目の不安です。これは3年間つきまとうものだと思います。自分の「将来」のため「夢」の実現のため、今頑張らないと後で後悔することになるのでしっかり努力をしていきたいと思います。(とは言っても、つい怠けて...) 高校の勉強は、進むスピードが速く戸惑っていますが、それに「めげず」頑張っていきたいと思います。

6月17日、多数の生花を岡田律子さん田部五月さんに生けていただき、昇降口をはじめ多目的スペース職員室等に飾らせていただきました。(PTA 総会時にも生花をお世話になりました)「ありがとうございます」

